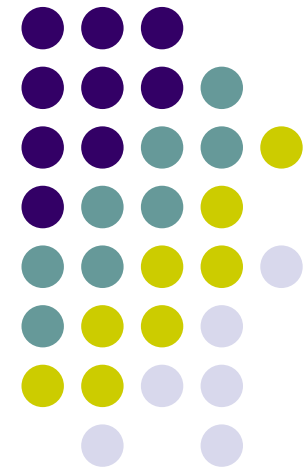


# 平成22年3月期決算説明資料

---

大村紙業株式会社  
(JASDAQ:3953)





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所



# 事業の状況

- 当業界におきましては、平成21年度全国段ボール生産量は前期比96.9%となりました。当事業年度の初めには原紙価格が下がり、その後も安定し、また主原料の加工機械に使用する重油価格も後半には上がりましたが、年度を通じては比較的安定しておりました。
- 当社は段ボール数量の確保と採算重視の両面の戦略を立て、また、コストの見直し経費削減に全社一丸となって努めてまいりました。その結果、業績の概要は次のとおりになりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート57百万㎡（前期比0.8%増）、段ボールケース37百万㎡（前期比5.9%増）となりました。
- 売上高は4,993百万円（前期比2.5%減）となりました。利益面におきましては、当事業年度の初めに営業が個々に目標を計画し、その目標に向かって全力を注いだことと、包装設計デザイン研究所と東北事業部の製版部門の統合により得意先へ迅速に提案・サービスの提供が出来たことの合併効果があったこと等により、経常利益448百万円（前期比26.7%増）、当期純利益242百万円（前期比54.3%増）となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所（ジャスダック）ホームページから検索しご覧いただくことができます。（URL <http://jds.jasdaq.co.jp/tekiji/>）

# 平成22年3月期 業績概要①



売上高：前期比2.5%減、経常利益：前期比26.7%増、当期純利益：前期比54.3%増となりました。

(単位：千円)

	当期 (平成22年3月期)	前期 (平成21年3月期)	前期比率
売上高	4,993,693	5,121,987	-2.5%
売上総利益	1,526,693	1,445,092	5.6%
営業利益	436,072	345,395	26.3%
経常利益	448,362	353,943	26.7%
当期純利益	242,634	157,235	54.3%
1株当たり当期純利益(円)	50.42	32.67	



## 平成22年3月期 業績概要②

流動資産は増加したが、設備投資抑制による有形固定資産の減少により、  
総資産は前期末比8.0%増、自己資本比率67.9%となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成22年3月末)	前期末 (平成21年3月末)
流動資産	3,472,971	2,993,419
現金及び預金	1,907,334	1,371,513
受取手形	545,566	601,538
売掛金	716,244	693,223
たな卸資産	243,488	271,858
その他流動資産	60,338	55,285
固定資産	2,497,963	2,533,311
有形固定資産	2,050,779	2,095,811
無形固定資産	19,203	22,396
投資その他の資産	427,980	415,103
資産合計	5,970,935	5,526,730

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成22年3月末)	前期末 (平成21年3月末)
流動負債	1,375,970	1,138,782
支払手形	853,131	680,674
買掛金	167,003	184,487
未払法人税等	133,637	91,331
その他の流動負債	222,197	182,288
固定負債	537,928	528,493
退職給付引当金	210,777	213,094
役員退職慰労引当金	327,150	315,398
負債合計	1,913,898	1,667,276
純資産合計	4,057,037	3,859,454
負債・純資産合計	5,970,935	5,526,730



## 平成22年3月期 業績概要③

(単位:千円)

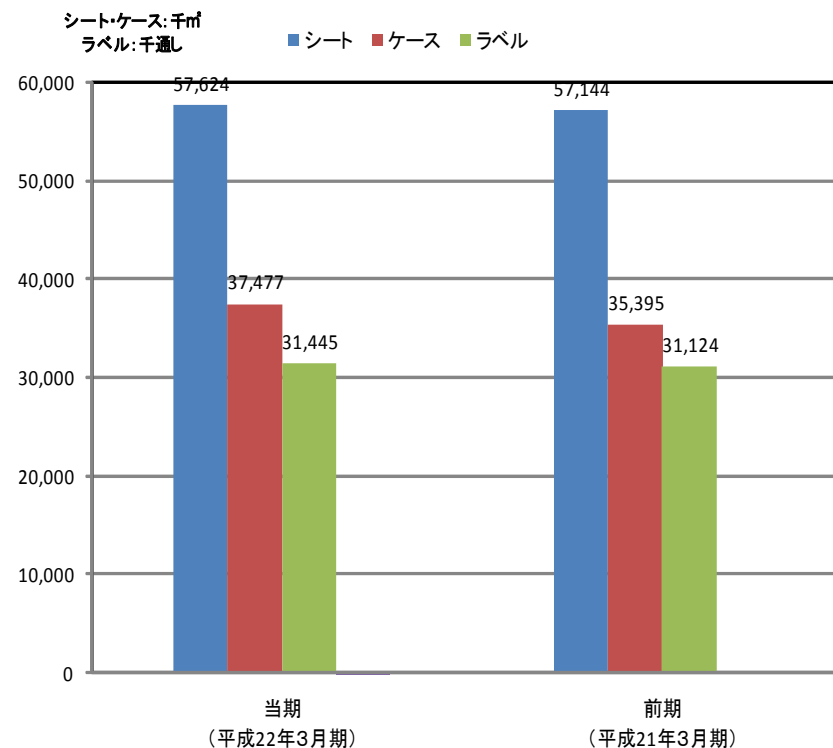
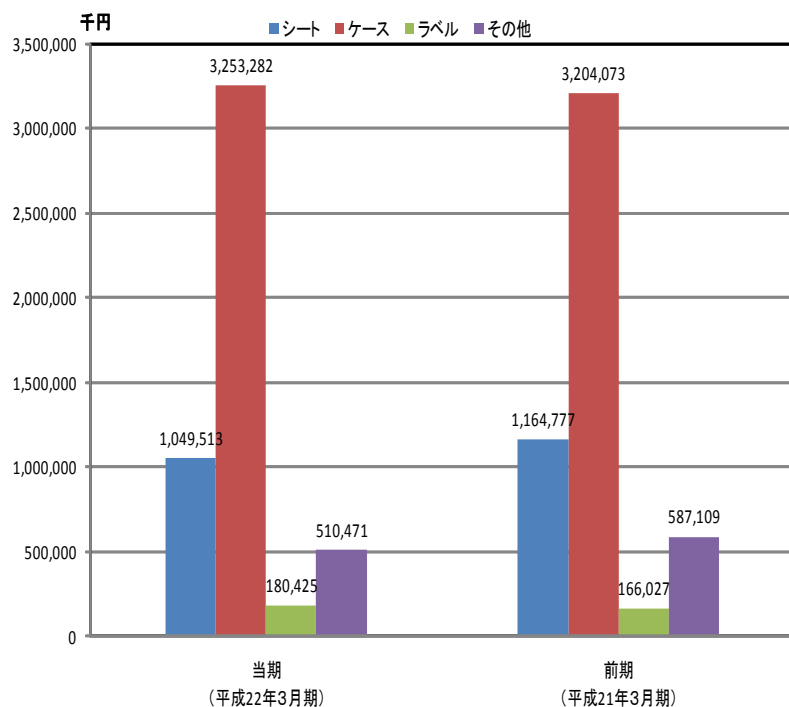
	当期 (平成22年3月期)	前期 (平成21年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	677,437	210,774
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 93,263	▲ 143,840
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 48,452	▲ 49,122
増減額(減少:▲)	535,721	17,811
現金及び現金同等物の 期首残高	1,342,475	1,324,663
現金及び現金同等物の 期末残高	1,878,197	1,342,475



# 品種別売上高及び生産実績

シート・その他は売上減少、ケース・ラベルは売上増加となりました。

シート・ケース・ラベルともに生産増加となりました。







## 今後の見通し

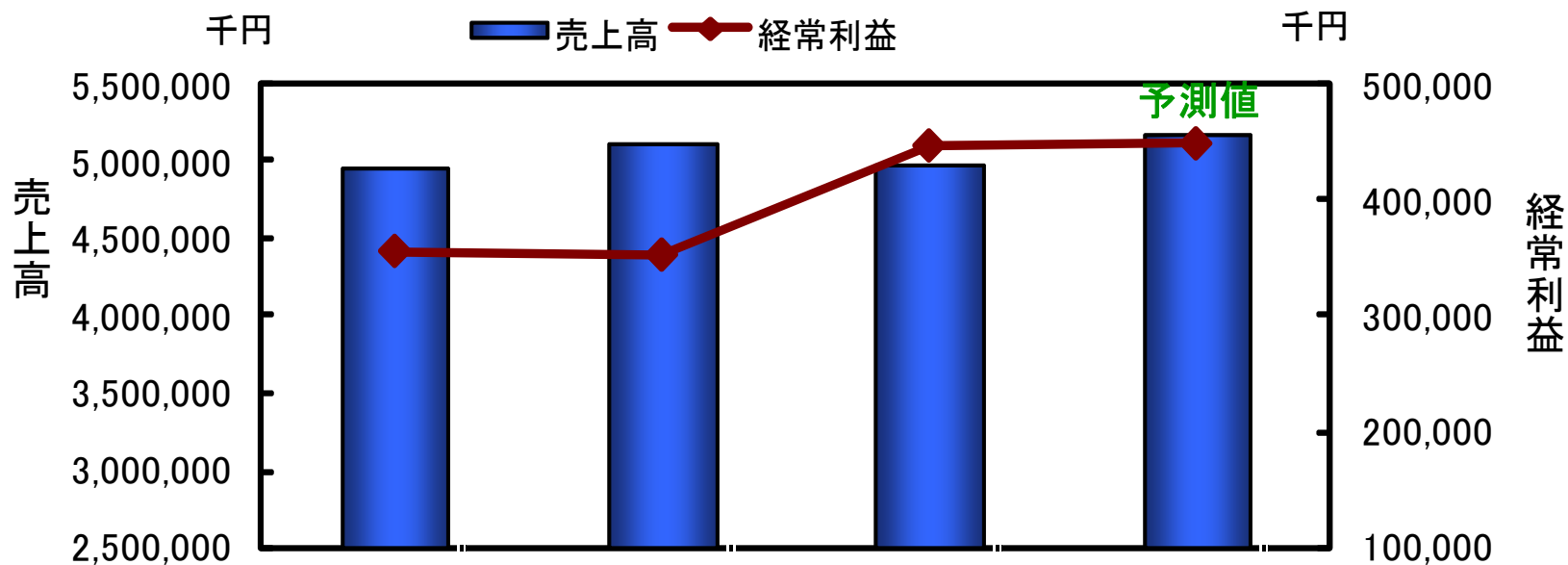
- 当業界におきましても、大幅な回復は見込まれないまでも、輸出関係を中心に段ボール需要も回復が見込まれると思われまます。当社といたしましては、このような状況のもと徹底した経費削減と年間を通じた販売イベントでの売上増で出来るだけ利益の確保をしたいと考えております。
- 平成23年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,178百万円(前期比3.7%増)、営業利益459百万円(同5.3%増)、経常利益450百万円(同0.4%増)及び当期純利益243百万円(同0.2%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。
- 投資家の皆さまにより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を高めるため、単元株式数を見直し、株式投資単位の引き下げを行うことといたしました。

(効力発生日平成22年7月1日 単元株式数1,000株→100株)



# 売上高および経常利益の見通し

※売上高5,178百万円(前期比3.7%増)、営業利益459百万円(同5.3%増)、経常利益450百万円(同0.4%増)及び当期純利益243百万円(同0.2%増)を計画しております。

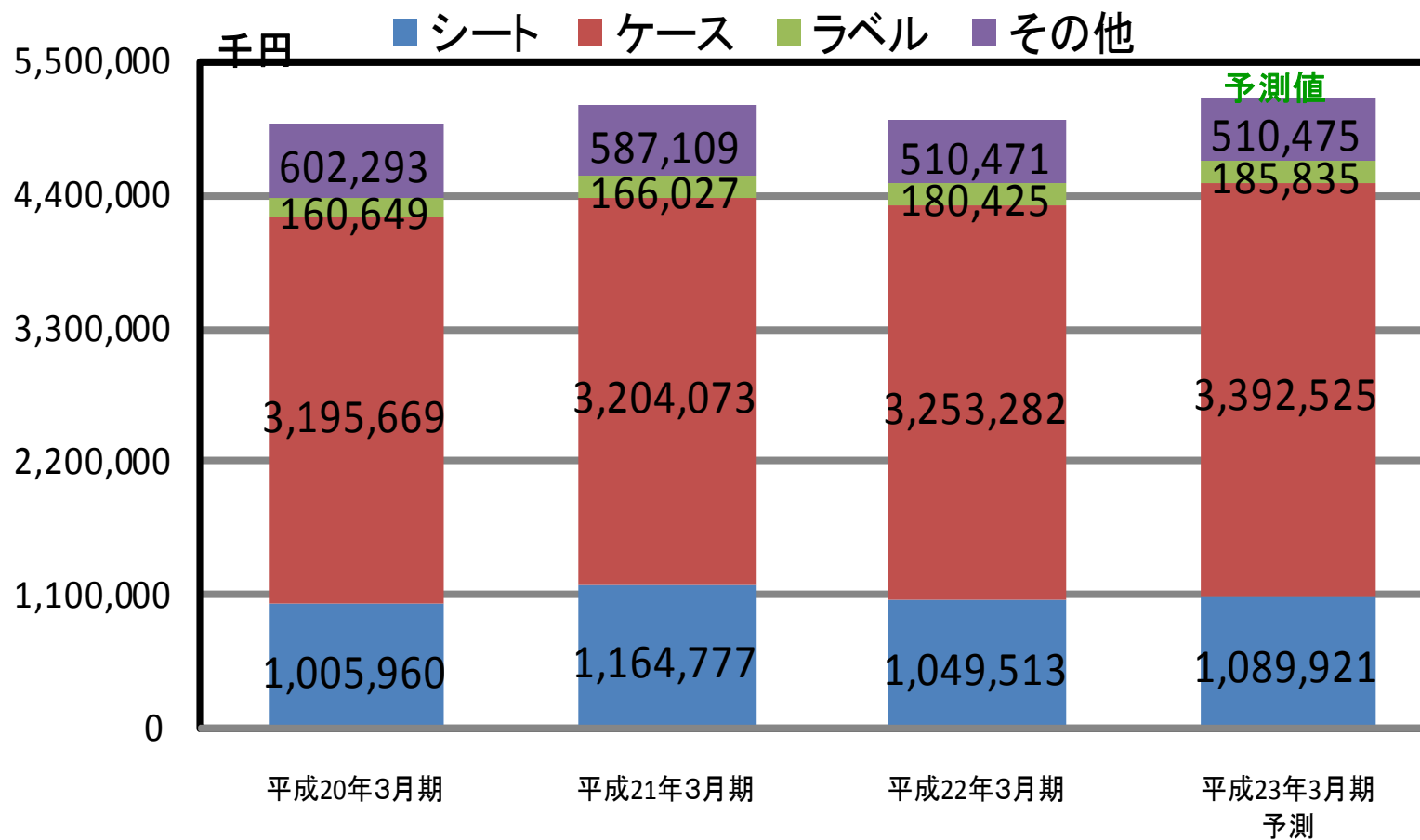


	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期 予測
売上高	4,964,572	5,121,987	4,993,693	5,178,756
経常利益	357,177	353,943	448,362	450,278



# 品種別売上高の見通し

※シート3.9%増、ケース4.3%増、ラベル3.0%の見込みであります。





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。